

【研究主題】

「個別最適な学び」の実現 を目指した授業づくり

～知的障害教育における学びの「経験」「自己理解」「自己調整」～

👉 学びの自己調整 学びの形、指導の形の連続性 個別最適な学び (第3年次)



来場参観
令和6年
6月5日(水)

オンデマンド配信
令和6年
6月24日(月)
～7月31日(水)

◇研究テーマについて

本研究では、「個別最適な学び」の実現を目指し、一人一人の子供が自身に合った学び方を知り、主体的に学びを調整していく姿を引き出すことを目標としています。1・2年目は、「学習の個性化」「指導の個別化」に着目し、児童・生徒それぞれの「学習履歴」や「学び方の特徴」を詳細に把握するためのツール(「M-FOCUS」)を開発し、それを基に授業づくりに取り組んできました。研究最終年次の3年目は、「教師が“教える”授業から、子供が“学ぶ”授業へ」をコンセプトに、教師からの視点である「個に応じた指導」の充実から、児童・生徒が主体となって学びを調整していく「個別最適な学び」へと授業を発展させることを目標とし、授業づくりを進めてきました。児童・生徒それぞれの実態と向き合い、それぞれの将来に着実に結び付けるための授業づくりの視点をご提案します。

◇日程

9:00 9:20 9:40 10:30 10:45 11:10 11:20 12:10 13:00 14:20 15:00 15:30 15:40 16:58 17:00

受付	説明移動	研究授業	(全体会) 本校研究の概要	ポスターセッション	昼休憩	分科会	基調講演	休憩	講演会	閉会
----	------	------	------------------	-----------	-----	-----	------	----	-----	----

◇提供授業について



生活単元学習

「修学旅行に行こう①」

本単元では、修学旅行で訪れる場所についての調べ学習や、調べたことをポスター等にまとめて発表する活動を通して、「調べ方」「まとめ方」「発表の仕方」についての自分の「得意」や「苦手」を理解し、「課題点」への対処や「こうなりたい」の実現に向けた自己調整の力を高めることを目指します。



生活単元学習

「お店屋さんをしよう」

本単元では実際にお店での買い物や店員さんへのインタビューを行います。また、その経験を生かし、子供たちがお店の準備、運営をします。子供たちの好きなことや得意なことをテーマにすることで、子供たち一人一人が主体的に活動に取り組む姿を目指します。



小

学
部



生活単元学習

「社会の中で私たちができること」

本単元では、将来の生活に向けて、自分の意見を持ちつつ、異なる意見を受け入れたり整理したり、合意形成を図る過程を経験させたいと考えています。生徒一人一人がよりよい社会生活に向けて考える機会とし、「持続可能な社会をつくる力」の育成を目指します。



◇基調講演

『個別最適な学び』の充実に向けた近年の動向と課題

講師 文部科学省 特別支援教育課

調査官 **加藤 宏昭** 様



平成27年4月東京都教育庁西部学校経営支援センター支所に学校経営支援主事として着任
平成30年4月東京都教育庁指導部特別支援教育指導課に指導主事として着任
令和3年度4月より現職

◇講演会

『個別最適な学び』の視点がもたらす 各教科等を合わせた指導の充実の方向性

講師 弘前大学教職員大学院

教授 **菊地 一文** 様



全日本特別支援教育研究連盟 副理事長、キャリア発達支援研究会 常任理事
「これからの特別支援教育はどうあるべきか」東洋館出版社
「確かな力が育つ知的障害教育「自立活動」Q&A」東洋館出版社 など著作物多数

◇本校の研究について

「個別最適な学び」にせまるための本校独自開発のツール

個別の学習履歴

(個々の理解状況を可視化・共有・蓄積)

GKシート

(個々の学びの特徴を分析・学習の個性化を図る)

M-FOCUS トップページ

(子どもの顔が見えるユーザーインターフェース)

学びの蓄積シート

(個々の学習の様子の記入、全教職員で共有)

2024/3/13		「数の学箱」さいころの目を見て数を答える活動では、1〜3はと、ぱっと答えられるようになってきている。今度は同じ活動を
2024/3/8		座位姿勢が長くなると姿勢が、姿勢が寝れることが多かったが、
2024/3/7		主単の隙間の時間で、被災した石川県の附属特別支援学校に「た」など自分から話をしてくれた。T1がメッセージに書きたいのを書き入れていた。その後、自分から花の絵を描き始め、色鉛筆を伝わってきた。
2024/3/6		お楽しみ会の計画を立てる活動に取り組んだ。「出し物」として「出し物」としては「ダンス」を選び、やりたい「ゲーム」としては、生き生きした表情で選んでいた。「ダンス」は本人も好んでをしっかりと表現することができていたのではないかと感じた。
2024/3/6		明後日の卒業式に向けて、最終練習に取り組んでいた。別れの歌のところは前の人の部分を誤ってしまうのですが、移動に一工夫し

◇後日オンデマンド配信について

公開研究会当日の3週間後を目安に、後日オンデマンド配信を開始予定です。配信予定の内容は次の通りです。

- ①各学部授業動画 ②研究概要報告（動画/資料） ③分科会＜学部概要報告（動画/資料）＞
- ④講演会（動画/資料） ⑤ポスターセッション（資料） ⑥令和5年度研究紀要（PDF版）

※配信に関する詳細については、配信1週間前を目安に、お申込み時にご登録いただいた連絡先にお知らせ致します。

【HP】 <https://tokushi.miyakyo-u.ac.jp/>

【連絡】 022-214-3353

(研究主任：梅津)



◇研究協力者・助言者

分科会	助言者	研究協力者
小学部	仙台市教育局 学校教育部特別支援教育課 主任指導主事 西村 茂貴	宮城教育大学 教育学部 特別支援教育専攻 教授 松崎 丈 准教授 三科 聡子 講師 兒玉 尚子
中学部	宮城県総合教育センター 教育推進部特別支援教育班 主幹(指導主事) 大森 奈津子	宮城教育大学 教職大学院 教授 菅井 裕行 教授 永井 伸幸 准教授 熊谷 亮
高等部	宮城県教育庁 特別支援教育課教育指導班 課長補佐(指導主事) 大友 きか子	宮城教育大学 教育学部 特別支援教育専攻 准教授 寺本 淳志 准教授 野崎 義和

【参加形態】 参加者のニーズに応じて2つの参加形態を設定しています。

- ①授業参観、分科会、講演会、全て参加。 → **来校型**
- ②当日の都合がつかない、遠方で参加が困難。 → **後日オンデマンド視聴**

【参加費】 (資料代含む)

* 1,000円

※来校型：当日受付にてお支払いください。 後日オンデマンド：口座振込、別途振込手数料

* 弁当代 (1,000円) ※希望者のみ、参加申し込みの際に合わせて申し込みください。

【参加申込み】

* 本校HPから <研究活動> → <公開研究> → <申し込みはこちら> から

* 下記のQRコードから

※お申込みの際にご入力いただいたメールアドレスにオンデマンド参加の際の口座情報など必要情報を後日送信させていただきます。

【申し込み締め切り】

令和6年 **5月26** (日) まで

【参加申し込み特設ページQRコード】

こちらから→

